## 2023年度の事業報告書

## 2023年4月1日から2024年3月31日まで

特定非営利活動法人シニアライフセラピー研究所

## 1 事業の成果

〇 地域支援事業

<地域の縁側 亀吉>

- ・藤沢市の補助事業としてプログラムを開催し、利用される方も徐々に増えてきている <フリースペース事業>
- ・コロナ感染対策が終息しプログラム開催団体が徐々に増えてきている
- 福祉有償運送事業
  - ・ 利用は多くないが、在宅高齢者や障がい者の移動手段として役立っている
  - 介護タクシーとは違った利用方法や料金設定が喜ばれている
- 居宅サービス事業

「便利屋 亀吉」

- ・前年度に比べて依頼数は減ったが、地域の方々に周知して依頼数の増加に繋げたい。
- ・地域のシニアの活躍の場となっている意義は大きい
- 介護保険法に基づく居宅介護支援事業及び介護予防支援事業

<地域福祉支援センター 亀吉>

- ・ 障がい者の計画相談も引き続き行っている
- ・ 若年性認知症への支援体制を整えることも行っている
- 介護保険法に基づく居宅サービス事業、介護予防サービス事業、地域密着型サービス事業、及び地域密着型予防介護事業

障害者自立支援法に基づく居宅介護・重度訪問介護・移動支援・生活介護

<ヘルパーステーション 亀吉>

- ・ヘルパー会議を行いヘルパー同士での情報共有を図ることができた
- ・生活に必要な外出以外にも、レクリエーションにも利用されている

<カルチャースクール 亀吉>

- ・生活リハビリ等機能訓練を充実させ、自立へ向けた取り組みがされている
- ・共生型生活介護の開所により高齢者・障がい者共に自立へ向けた取り組みを行っている
- 心理・福祉・介護に係る教育研修事業
  - ・ ユーキャンの講座も引き続き全国から多くの方に受講していただいている
  - ・ 「傾聴講座」対面での定期開催が再開された
  - ・ オンラインでの傾聴講座も開催した
- 心理・福祉・介護に係る調査、研究、情報収集及び情報提供事業
  - ・ 毎月発刊の情報誌、News の購読者も多く、よりきめ細かい情報発信ができた
- 国際交流支援事業
  - ・タイの福祉基金運動も定着し、それ目的の寄付金も継続して集まっている
  - ・タイの里親制度の支援も継続し、成長した子供たちの母国での活躍が見られる

- 子ども健全育成支援事業
  - ・親子の料理体験などのイベント人数を限定して開催した
- 市民活動推進支援事業
  - ・他 NPO 法人や任意団体への運営に助言するとともに、自ら参画して広く意見を述べた
- 障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス事業

<福祉コミュニティカフェ 亀吉>

- ・前年度より始めた工房でのお菓子の販売はメニューの幅は広がり、美味しさと見栄えを 伴った仕上がりになり、好評となっている。
- ・お弁当のメニューを増やした。
- ・調理だけではなく店内フロアの清掃や接客、情報誌の折込みや封入作業等、各自の スキルに応じた様々な仕事を用意した。

<パン遊房 亀吉>

- ・障害のある利用者にとって無理なく働けるペースを守りながら国産の小麦粉や卵、天然酵母 とこだわりの原料を厳選し、パン作りを続けている
- ・試作品を作り、新商品で好評を得て、リピート者を確保している。
- ・鵠沼海岸駅前の商店街の直売所も周知されてきている。

<グループホーム 亀吉壱番館、サテライト>

- ・世話人会議、個別カンファレンスを随時行い必要な支援をその都度行っている
- ・必要な方には金銭管理を行い自立した生活を送る支援を行っている
- <地域福祉支援センター 亀吉>
- ・障害のある利用者の日常生活の相談やサービス利用の継続支援等行っている

<ヘルパーステーション 亀吉>

- ・自宅で生活される障害のある方の日常支援を継続的に実施
- ・余暇活動や外出支援も多く支援を行っている
- <カルチャースクール 亀吉>
- ・介護保険共生型の支援にて調理・掃除・洗濯・片付け等介護保険利用の高齢者と共に行う事が出来ている
- ○福祉を目的とする宅地建物取引業
  - ・ 高齢者や障害のある方からの問い合わせが多く、住まいの面からも必要な方への支援が できている
- ○福祉を目的とする飲食店業
  - ・機能訓練の一環として調理したお惣菜を販売した
- 地区郷土づくり推進会議参画事業
  - ・法人職員も鵠沼郷土づくり推進会議に協力員として参画しており、数々の提言をした
- ○農福連携事業
  - ・農家と連携し、農作物の加工などの作業を請け負った
- ○禁煙事業
  - ・事業所内外を問わず全て禁煙とし、受動喫煙防止対策を講じた
  - ・健康関連の外部の団体にも積極的に協力している

## 2 事業内容.

2 争未们分,	Т	(A) = #4	かずかけたせ	
- N/4 6		(A) 日時	(D) 受益対象者	III ###
事業名	内 容	(B)場所	(E)人数	支 出 額
		(C)従事者人員		
地域支援事	地域の縁側事業	(A) 通期	(D) 藤沢	2, 168, 789
業		(B) 藤沢	(E) 1707人	, ,
714		(C) 5人	(_/ _//,	
福祉有償運	移送サービス事業	(A)通期	(D) 藤沢	1, 768, 789
送事業		(B) 藤沢	(E) 274 人	2, 100, 100
247		(C) 5人		
居宅サービ	便利屋事業		(D) 藤沢	100,000
ス事業			(E) 15 人	100,000
ク			(E) 15 A	
∧ =#: /□ ₽∧ \.		/ A \ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	(r) # 70	4 100 014
介護保険法	居宅介護支援事業	(A) 通期	(D) 藤沢	6, 123, 814
に基づく居	介護予防支援事業	(B) 藤沢	(E) 185 人(居宅)	
宅介護支援	地域福祉支援センタ	(C) 3人	49 人(予防)	
事業及び	一 亀吉			
介護予防支				
援事業				
介護保険法	ヘルパーステーショ	(A) 通期	(D) 藤沢	9, 845, 515
に基づく居	ン	(B) 藤沢	(E) 44人	
宅サービス		(C) 17人		
事業、介護予				
防サービス		(A)通期	(D) 藤沢	
事業、地域密	カルチャースクール	(B) 藤沢	(E) 224 人	19, 691, 030
着型サービ		(C) 13 人		10, 001, 000
ス事業、及び		(3) 10)(		
地域密着型				
予防介護事				
業				
心理・福祉・	傾聴ボランティア育	(A) 通期	(D) 県内	2, 127, 477
小壁・偏位・	傾聴 ホノン ノイノ       成派遣事業	(A) 通朔   (B) 藤沢	(E) 300 人	۷, ۱۵۱, 4۱۱
			(上) 300 人	
教育研修事		(C) 2人		
業				
>			(-) A I	
心理・福祉・	情報紙の発行	(A) 毎月1回	(D) 全国	1, 803, 524
介護に係る		(B) 藤沢	(E) 1000人	
調査、研究、		(C) 5人		
情報収集及				
び情報提供				
事業				
日欧カオナ	カノ5かみなっぱす 1分	(A) E1 E	(D) 5 7 11 F	^
国際交流支	タイ留学及び研修	(A) 年1回 (B) 公濟	(D) タイ山岳	0
援事業		(B) 台湾	民族の子供	
		(C) 2人	(E) 80人	
子ども健全	子育ちサロン	(A)通期	(D) 地域の親子	588, 481
育成支援事	子ども食堂	(B) 藤沢	(E) 70人	
業		(C) 15人		
市民活動推	定例会出席など	(A) 年 20 回程度	(D) 会員	0
進支援事業		(B) 神奈川県	(E) 100 人	
		(C) 10 人	. , === , ,	
	l	(0) 10)(		

障害者自立 支援法に基 づく指定障 害福祉サー ビス事業	コミュニティカフェ パン遊房 亀吉 グループホーム 地域福祉支援センタ ー ヘルパーステーショ ン カルチャースクール	(A) 通期 (B) 藤沢 (C) 62 人	(D) 藤沢 (E) 927 人	132, 362, 486
福祉を目的 とする宅地 建物取引業	宅建業 勉強会 相談会	(A) 通期 (B) 藤沢 (C) <b>5</b> 人	(D) 藤沢 (E) 400 人	4, 805, 492
福祉を目的 とする飲食 店業	販売	(A)通期 (B)藤沢 (C)10 人	(D) 地域住民 (E) 1,000人	19, 159, 178
地区郷土づ くり推進会 議参画事業	会議出席など	(A) 通期 (B) 藤沢 (C) 5人	(D) 地域住民 (E) 3,000人	0
農福連携事業	農作物の加工	(A)通期 (B)藤沢 (C)30 人	(D) 藤沢 (E) 1,000人	591, 862